

三井金属グループ サステナビリティの取組み

マテリアリティに基づく各取組みの進捗をまとめています。

※本ページに掲載の情報は、2024年3月31日現在の情報に基づいて作成されています。

CSV(機会)の基準:
製品の環境・社会スタンダード

環境貢献製品制度

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

コミットメント (2024年度)
毎年度、新規上市製品の自発的なLCA認定エントリーが複数ある状態を形成

目標 (KPI)
環境貢献製品制度の運用本格化

関連するSDGs G9, G11, G12, G13

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

2023年度 取組み計画
1. 事業創造本部でのLCA運用
2. ほか事業本部へのLCA展開
3. 環境貢献製品の認定本格化

2023年度 取組み実績
1. 2024年度以降実施
2. 展開計画を協議(金属事業本部、モビリティ事業本部)
3. 計画通り実施

進捗評価 1. △ 2. △ 3. ○

2024年度 取組み計画
1. 事業創造本部内でのLCA運用・展開
2. 金属事業本部とモビリティ事業本部へのLCA展開
3. 複数の環境貢献製品の審査・認定

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

ESGリスク管理の仕組み

環境・安全マネジメントシステム

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

コミットメント (2024年度)
ISO規格に準じ環境・安全衛生マネジメントシステムを継続的に改善

目標 (KPI)
1. 主要製造拠点におけるISOマネジメントシステムの継続的な運用・更新
2. 小規模拠点・非製造拠点におけるISOに準じたマネジメントシステムの運用・改善

関連するSDGs G8, G9

2023年度 取組み計画
1. 主要製造拠点におけるマネジメントシステムの運用状況の監視、運用改善を継続
2. 小規模拠点・非製造拠点の環境保全と安全衛生における重点課題への取組みを継続

2023年度 取組み実績
1. 計画通り実施
2. 計画通り実施

進捗評価 1. ○ 2. ○

2024年度 取組み計画
1. 主要製造拠点におけるマネジメントシステムの運用状況の監視、運用改善を継続
2. 小規模拠点・非製造拠点の環境保全と安全衛生における重点課題への取組みを継続

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

人権デュー・ディリジェンス

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

目標 (KPI)
1. 製造・開発もしくはそれを行なう拠点と密接に関わる関係会社、計57事業所/関係会社のうち、85%への人権DD完了
2. 人権DD調査項目およびその内容のレビューと改善

関連するSDGs G1, G4, G5, G8, G10, G11, G16

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

2023年度 取組み計画
1. 関係会社2社(海外2社)でDD実施

2023年度 取組み実績
1. 計画通り実施

進捗評価 1. ○

2024年度 取組み計画
1. 関係会社4社(海外4社)でDD実施

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

サプライチェーン・マネジメント

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

コミットメント (2024年度)
サプライヤーDDを効果的に実施し、サプライチェーンにおけるクリティカルなリスクを低減

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

目標 (KPI)
1. リスク評価に基づく、年度毎の対象サプライヤーへのSAQ100%実施
2. 高リスク(Gランク)サプライヤーへの是正100%実施

関連するSDGs G8, G12

2023年度 取組み計画
1. セカンドサイクルにおけるSAQ未回収の対象サプライヤーにSAQ実施
2. Cランクへの是正措置
3.(1)サプライチェーンのリスク評価の準備
(2)新システムでFY22調達額実績を集計し、再度サプライヤーを整理

2023年度 取組み実績
1. 84.9%に実施
2. 4社に実施
3. 計画通り実施

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

進捗評価 1. △ 2. ○ 3. ○

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

2024年度 取組み計画
1. FY24の取組みの進捗調査、フォローアップ、次年度計画の検証(全事業所)
2. FY23の結果をレビューし、是正措置を検討(赤石、サンタルイサ)

[評価の基準]
△:計画通りに達成できなかった
○:計画を達成した
◎:計画以上に進めることができた

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

※本製品は環境貢献製品として認定されています。

08 生物多様性への影響

コミットメント（2024年度）

- 事業活動の生物多様性への影響の把握と環境被害の発生予防
- 自社の直接開発で利用した生態系復元

目標（KPI）

- 拠点における生態系への影響把握と対応策の実施
- 開発した土地への植栽等による回復活動

関連するSDGs

2023年度 取組み計画

- 各拠点で事業活動による生態系への影響を把握し、その低減を実施
- 開発した土地への植栽等の回復活動の立案とその進捗管理を継続。生物多様性に配慮した製品の活用の継続

2023年度 取組み実績

- 計画通り実施
- 計画通り実施

進捗評価

1. ○ 2. ○

2024年度 取組み計画

- 各拠点で事業活動による生態系への影響を把握し、その低減を実施
- 開発した土地への植栽等の回復活動の立案とその進捗管理、生物多様性に配慮した製品の活用
- 社内でTNFDの理解促進のための講習会を開催。TNFD開示に向け事業活動による生物多様性への影響・依存の全体像を把握

2024年度 取組み実績

マテリアリティ: ESGリスク（社会）

09 安全衛生

コミットメント（2024年度）

- 全ての従業員が安心して働ける安全で衛生・健康的な職場環境の整備
- 重篤な災害の撲滅

目標（KPI）

- 安全で衛生・健康的な職場
 - 不休業以上の災害30件未満
 - 特に新規従業員（就業1年未満）、高齢層（60歳以上）の従業員、外国人従業員の労働災害（職業性疾病を含む）10件未満
- 重篤な災害の撲滅
 - 重大災害（死亡災害）0件
 - 身体に再生不可能な後遺症を与える災害0件
 - 危険体感教育

関連するSDGs

2023年度 取組み計画

- (1)モデル職場で生体センサーによる体調監視の採否を判断

2023年度 取組み実績

- (2)新規従業員:危険体感研修への重点層の優先参加、定期的に職長との面談、部門長との対話を継続

高齢層:モデル職場での高齢者視点での職場調査結果に基づく改善

外国人従業員:目で見てわかる注意標識を設置。研修資料や作業標準書等の使用言語化
- (1)ロックアウト対象拡大、各拠点におけるロックアウトの好事例を共有。ISO45001内部監査や本部安全監査で運用状況を確認

(2)三井金属安全基準(薬傷、酸欠)を施行

(3)VR危険体感の出前研修の展開、各拠点の体感研修をサポート

2023年度 取組み実績

- (1)一部職場で熱中症予防のバイタルセンシングをテスト運用

(2)計画通り実施
- 詳細はP.68に記載

(1)計画通り実施

(2)計画通り実施

(3)計画通り実施

進捗評価

1. ○ 2. △

2024年度 取組み計画

- (1)ウェアラブルデバイスの好事例展開

(2)新規従業員:就業実態を考慮して、危険体感研修への優先参加を継続、定期的に職長との面談、部門長との対話を継続

高齢層:モデル職場での高齢者視点での職場調査結果に基づく改善

外国人従業員:目で見てわかる注意標識の設置を推進、就業実態を考慮して、研修資料や作業標準書等の使用言語化を推進

2.(1)ロックアウトの対象を拡大・強化、残留エネルギーへの対応(ガス圧、油圧、水圧など)、薬液系への対応(バルブ、ポンプなど)、各拠点におけるロックアウトの好事例を横展開、ISO45001内部監査や本部安全監査で運用状況を確認

(2)設備の本質安全化・予防管理の徹底、三井金属安全基準の拡充

(3)危険体感教育の充実、VR危険体感の出前研修の展開、各拠点の体感研修をサポート

10 人権

コミットメント（2024年度）

人権DD等で特定された人権リスクに対し、当社グループのリスク緩和策を実行

目標（KPI）

- 人権DD実施結果を踏まえた、当社グループとして特に取り組むべき重点領域の特定と、当該領域における人権への対応方針・手順の策定
- 策定された方針・手順を含む人権研修のプログラムの設計と、当社グループ内への展開

関連するSDGs

2023年度 取組み計画

- 外国人労働者の人権尊重について対応方針の策定とリスク緩和策の実施
- 体系的な人権研修のプログラムの設計と展開

2023年度 取組み実績

- 計画通り実施
- 全従業員に向けて実施する人権研修の設計を完了

進捗評価

1. ○ 2. △

2024年度 取組み計画

- 外国人労働者の人権尊重について細則の検討、是正措置の実施
- 人権研修のプログラム実施

2024年度 取組み実績

2024年度 取組み計画

- 公正な事業慣行
 - 外国人労働者の人権尊重について細則の検討、是正措置の実施
 - 人権研修のプログラム実施

2024年度 取組み実績

グローバルな贈収賄禁止体制および公正な事業慣行に関するPDCAサイクルの構築

目標（KPI）

グループ全従業員に贈収賄禁止、公正な事業慣行の実施の意識が浸透

2023年度 取組み計画

- サプライヤーとの贈収賄禁止協定書締結:アジア地区以外の海外拠点への展開(モロッコ、メキシコ、ペルー、インド)
- (1)MLP上での独禁法・下請法の教育を継続
- (2)同業他社との会合申請書/報告書の運用の拡充強化

2023年度 取組み実績

- モロッコ・ペルーは概ね完了/メキシコ・インドは展開を継続中
- (1)計画通り実施
- (2)運用をしていなかった本部においてルールを設け運用開始

進捗評価

1. △ 2. (1)○ (2)△

2024年度 取組み計画

- アジア地区以外への展開(米国、英国)
- (1)MLP上での独禁法・下請法の教育を継続
- (2)同業他社との会合申請書/報告書の運用の拡充強化

2024年度 取組み実績

マテリアリティ: ESGリスク（ガバナンス）

12 ガバナンス

（コンプライアンス、ICTガバナンスを含む）

2023年度 取組み計画

- コーポレートガバナンス強化
 - 執行側の中長期的な課題への取組みを取締役会が実効的に監督する体制の構築
 - リスクマネジメント機能の強化に向けたリスク調査の定期的な運用
- コンプライアンス体制
 - 全拠点におけるコンプライアンス周知体制の構築
 - 社内外のステークホルダー向けの通報制度運用
 - ICTガバナンス
 - ICTガバナンス

全部門における情報管理体制の構築

4. 情報開示と透明性の確保

情報開示に関する管理体制の構築

2023年度 取組み実績

- 目標（KPI）
 - (1)取締役会メンバーとの中長期課題への取組み状況の情報共有、適時・適確に論点を絞って取締役会で議論する機会の確保
 - リスクの特定、対応策の策定とその評価を、年度ごとに実施する運用の確立
 - グループ全従業員にコンプライアンス意識が浸透
 - 情報管理体制の不備による情報漏洩リスクのミニマイズ
 - 一定の開示基準に基づいた迅速かつ公正な情報開示体制の確立

2023年度 取組み計画

- (1)改訂ガバナンスコード個別項目への対応強化、取締役会実効性評価を踏まえた運営上の改善策の実施、有価証券報告書の開示内容の拡充
- (2)リスクマップのローリング実施、リスク低減活動の実施と低減活動の効果確認、次期中計に向けたリスクマネジメント調査実施の諸準備
- (1)欧米地域でのコンプライアンス推進策の検討・実施
- (2)コンプライアンスガイドブックの改訂(パーパスや全社ビジョン、人権尊重、サプライチェーンデュー・ディリジェンス、ダイバーシティ等の織込み)
- (1)ICT関連規則の見直しの実施継続
- (2)生産技術力強化と運動した情報管理体制の強化等
- (3)海外関係会社における情報管理体制の構築
- (4)各拠点の個社システムのリスクアセスメント実施
- (5)ICT利用細則について、システムによる統制の仕組みを構築
- 情報開示に関する方針の追加を検討

2023年度 取組み実績

- (1)計画通り実施
- (2)計画通り実施
- (1)計画通り実施
- (2)計画変更し、行動規準の見直しを検討
- (1)計画通り実施
- (2)生産技術力強化との連携は進捗中も未達
- (3)海外関係会社への展開は未達
- (4)計画通り実施
- (5)計画通り実施。対象の2/3のシステム統制実施
- 計画通り実施

進捗評価

1. (1)○ (2)○ 2. (1)○ (2)△ 3. (1)○ (2)△ (3)△ (4)○ (5)○ 4. ○

2024年度 取組み計画

- (1)改訂ガバナンスコード個別項目への対応強化、取締役会実効性評価を踏まえた運営上の改善策の実施、監査等委員会設置会社としてのガバナンス体制の確立・運用
- (2)リスク低減活動の計画策定および推進、次期中計に向けた全拠点に対するリスク調査を実施、特定されたリスクに基づきリスクマップを作成しマネジメントを強化
- (1)欧米地域でのコンプライアンス推進策の検討・実施
- (2)行動規準の改訂(パーパスや全社ビジョンの反映、サステナビリティ等の織込み)
- (1)ICT関連規則の見直しの実施継続
- (2)生産技術力強化と運動した情報管理体制の強化等
- (3)情報管理にかかる、体制未構築の国内拠点における体制整備と構築済み拠点に対する監査の実施
- (4)各拠点の個社システムのリスクアセスメント実施
- (5)ICT利用細則について、システムによる統制の仕組みを構築
- 情報集約体制の実効性確認

2023年度 取組み計画

- 目標（KPI）
 - (1)取締役会メンバーとの中長期課題への取組み状況の情報共有、適時・適確に論点を絞って取締役会で議論する機会の確保
 - リスクの特定、対応策の策定とその評価を、年度ごとに実施する運用の確立
 - グループ全従業員にコンプライアンス意識が浸透
 - 情報管理体制の不備による情報漏洩リスクのミニマイズ
 - 一定の開示基準に基づいた迅速かつ公正な情報開示体制の確立

2023年度 取組み実績

- 計画通り実施
- 計画通り実施
- 計画通り実施
- 計画通り実施
- 計画通り実施
- 計画通り実施
- 計画通り実施
- 計画通り実施
- 計画通り実施
- 計画通り実施

2023年度 取組み計画

1. ○ 2. ○ 3. ○

2023年度 取組み計画

マテリアリティ推進を支える取組み（価値創造を実現するための資本）

人的資本

ダイバーシティ

2023年度 取組み計画

多様な人材が活躍する企業グループの実現

2023年度 取組み実績

- 目標（KPI）
 - 多様な人材が、年齢・性別その他個人の属性にかかわらず、より能力を発揮し活躍できる人事制度への見直し
 - 多様な人材が働き続けられる環境
 - いきいき度（エンゲージメント測定指標）維持改善拠点率 20%
 - 「多様性の尊重」(従業員へのアンケート結果)維持改善拠点比率 30%
 - 新規採用従業員に占める女性の割合 20%以上
 - 正社員採用女性比率 26%
 - 女性管理職比率 5%以上
 - リーダー層女性比率 12%
 - 男性育休取得率 30%
 - えるぼし、くるみん、なでしこ銘柄の認定取得
 - 社内の情報発信体制を確立、定期的な情報発信とダイバーシティ研修の体系的な実施

2023年度 取組み計画

- 関連するSDGs
 - G4, G5, G8
- 2023年度 取組み計画
 - 引続き運用の確立と社内周知のための対話継続
 - キャリア採用者向けPR強化
 - 「誰もが休みやすい職場作り」モデル拠点での実施*
 - えるぼし取得、女性が働ける職場数の集約・行動計画等への目標値反映
 - 女性交流会の企画・実施
 - 育児休業ハンドブック作成・配布、管理職向け男性育休説明会の実施
 - 事業部・部門毎のエンゲージメント測定立ち上げ、成功事例横展開・取組みサポート
 - * 昨年度から名称を変更
 - アンコンシャスバイアス研修、女性社員、女性社員の上司向け研修、拠点毎のハラスメント研修、人事総務担当者向け研修の実施

2023年度 取組み実績

- 計画通り実施
- 計画通り実施
- 計画通り実施

進捗評価

1. ○ 2. ○ 3. ○

2024年度 取組み計画

- 22中計期間中の制度運用状況振り返りと制度の改善
- 拠点毎のハラスメント研修、人事総務担当者向け研修の実施
- 事業部・部門毎のエンゲージメント測定立ち上げ、海外展開を開始、成功事例の横展開・取組みサポート

